

2021年度 日本工学院専門学校											
C G 映像科											
ビジネススキル 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	神野秀美			実務 経験	有	職種	キャリアコンサルタント				
授業概要											
自己分析とマインドセットのための講義と実戦形式のプログラムを繰り返し実施する。用意されたシートに講義を聴きながら記入し、理解したところ で実際にロールプレイングを行う。理解度を測る他、コミュニケーションスキル向上確認のためのグループワークや発表も行う。											
到達目標											
この授業では社会に出るために必要なコミュニケーションスキルを身につけることを目標とする。面接試験または履歴書やエントリーシート記入の準 備段階として、演習を行うことで自己分析力・文章力・表現力の向上を実現する。自身の得意・不得意分野を検討した上で業種の特性を理解し、目指 す職種と力を入れるべき要素を絞り始めることができる。それにより得意分野を伸ばし、就職活動に向けた姿勢を早い段階で整えることができる。											
授業方法											
自身を客観的に捉えることで特性と進路を照らし合わせ、目標設定を考え始めるために業界研究、CG、制作論、専門教養、一般教養など基礎知識を学 び、自己分析などを経てキャリアパスの構築を行う。また、心理学を取り入れたワークショップを実施することで健全な精神状態を維持し、前向きに 勉学に取り組める状態を目指す。社会人になる前提として、円滑な対話に必要な傾聴力、考えを正しく他者に伝えるための語彙力等の重要性について も理解を深める。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、理由のない出席遅刻は認めない。 授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	自己変革について理解する(実践)										
第2回	社会人になる前提としての意識を持ち始める(実践)										
第3回	自己分析について理解する(実践)										
第4回	障害になるものを特定する(実践)										
第5回	劣等感になるものを導き出す(実践)										
第6回	ストレスになるものを導き出す(実践)										

2021年度 日本工学院専門学校	
CG映像科	
ビジネススキル1	
第7回	モチベーションの源を導き出す(実践)
第8回	コーチング1 目的志向型プログラムにより自身の傾向を導き出す(実践)
第9回	コーチング2 問題解決型プログラムにより自身の傾向を導き出す(実践)
第10回	傾聴というスキルを理解する(実践)
第11回	質問というスキル理解する(実践)
第12回	キャリア・コンサルタントによる指導により社会への理解を深める(実践)
第13回	モチベーションマネジメントにより自身の傾向の改善を検討できる(実践)
第14回	サクセスイメージにより自身の傾向の改善を検討できる(実践)
第15回	全体のまとめ